



女性農業者の育成講座「ようてい“あぐり女子広場”」開講しました！

11月26日、基礎的な農業技術や経営に関心のある女性農業者を対象とした「ようてい“あぐり女子広場”」を開講しました。農業経営の発展と地域経済の活性化を目指し、次世代のリーダーとして必要なスキルと知識を養うことを目的とし、今後2年間にわたり年間5回の講座が予定されています。

当日は、1期生の18名が集まり、主催JAようてい、共催後志農業改良普及センターで開催され、開講式では、八田組合長より「農業の未来を担う女性農業者に大きな期待を寄せている」と挨拶がありました。また、後志農業改良普及センターの森久夫次長からも、農業技術の向上と地域農業への貢献を目指す本講座の意



ホクレン倶知安支所 鶴見氏による講義



ワークショップの様子

義が強調されました。

第1回目の講座では「土づくり」をテーマに、ホクレン倶知安支所生産資材課の鶴見拓哉氏が、ようてい管内の土壌について解説し、地域特有の課題に対する取り組みが紹介されました。また、後志農業改良普及センターの村井翼専門普及指導員より、土壌診断結果に基づくpH矯正技術について講義が行われました。

ワークショップでは、参加者が自己紹介を行い、今後のカリキュラム内容に関する意見交換が行われました。農業の現場で直面している課題や、今後の学びに対する期待が語られ、参加者同士の農業に対する意欲や共感が深まる貴重な時間となりました。

【担当：佐々木（真）】

倶知安町畑作・野菜生産組合 合同視察研修を行いました！

11月18日～19日、倶知安町畑作生産組合（組合長：小松孝さん）・野菜生産組合（組合長：篠原和幸さん）合同による道内視察研修を開催しました。

両組合から17名が参加し、初日はホクレン農業総合研究所食品流通研究課でMA包装、CA貯蔵等について研修しました。

翌日は、岩見沢市の株式会社モリタンを訪れ、ようてい産馬鈴薯を使用したコロッケの製造方法について学びました。製造ラインを見学し、馬鈴薯生産等についての意見交換を行い有意義な研修となりました。その後、北広島市のエスコンフィールドを視察しました。

【担当：福田（達）】



倶知安町畑作・野菜生産組合の皆さん